

平成30年度  
事業報告書

平成30年 4月 1日から  
平成31年 3月31日まで

公益財団法人緑の地球防衛基金

# 平成30年度事業報告書

## 〈事業活動〉

### I 地球上の生態系に深刻な影響を与える森林破壊や砂漠化を防止するための緑の保全・再生に関する調査研究及び活動並びにその推進のための助成事業（公益目的事業1）

地球上の生態系に深刻な影響を与える森林破壊や砂漠化を防止するための緑の保全・再生に関する調査研究及び活動並びにその推進のための助成事業をタンザニア・キリマンジャロ山並びに中国・陝西省榆林市横山県東陽山において実施し、計379万9千円の助成支援を行いました。

#### 1. タンザニア・モデル造林事業

平成4（1992）年に支援を開始したタンザニア・モデル造林事業が、平成30（2018）年度終了しました。事業開始数年後、当初のカウンターパートである「タンザニア植林協会」の組織運営に問題があることが分かり、協力関係を解消せざるを得なくなるなど支援が行き詰まる苦しい時期もありました。しかし、その後同協会の一支部として熱心に植林に取り組んでいたオリモ支部を独立させ、新たなカウンターパートであるローカルNGO「タンザニア環境行動協会（TEACA: Tanzania Environmental Action Association）」として育っていく中、タンザニア・モデル造林事業は順調に進展し、最終的にはキリマンジャロ山麓の40村が協力し、植林本数80万本を数える事業として成功裡に実施することが出来ました。

平成30年度の植林本数は16,155本でした。

平成30年度の支援額は、例年と同じく2万5千ドル（当時の換算レートで約279万9千円）とし、平成30年9月14日～10月13日（30日間）、職員を現地に派遣するとともに、平成30年9月30日～10月5日（6日間）、事業協力式典及び現地視察のため、大石理事長を現地に派遣しました。

なお、当基金からの支援が平成30年度をもって終了し、今後の現地における植林活動の持続性確保が最大の課題となっていたため、TEACAの収益力改善を狙いとしたレンタルハウス建設への支援金の活用も認めました。（本件実施によりTEACAの資金需要全体の約6割カバーできることになりました。）このレンタルハウスからの収入が、TEACAの今後の植林活動を支える有力な手立てとなり、今後もキリマンジャロ山麓の植林事業が進められていくことを強く期待しています。

## 2. 中国陝西省榆林市横山県東陽山における日中緑化協力事業

当基金は、昭和57（1982）年の設立以来、世界の森林破壊による砂漠化を防止するため、開発途上国を中心に植林活動を進めてきました。特に中国においては、20年間（陝西省韓城市象山10年、同銅川市南寺山10年）にわたって実施した緑化プロジェクトは両国間の友好の証となっています。3回目となる陝西省榆林市東陽山緑化事業は、平成24（2012）年11月東京において、当基金と横山県（当時。現在は横山区）との間で、日本の外務、農林水産、環境の各省関係者立会いの下に「造林に関する覚書」の署名・交換が行われました。この覚書に基づき、平成25（2013）年から令和2（2020）年までの8年間、横山県東陽山において、25ヘクタール、1万400本の造林を行う新たな緑化協力事業が進められています。

本件事業の6年目にあたる平成30（2018）年度は、例年と同じく100万円を支援しました。

平成30（2018）年は、これまでの植林地から約3キロ離れた新たな9ヘクタールの地に植林を実施し、覚書に記された25ヘクタールの植林プロジェクトが完成しました。樹種は、クルミ4,455株です。

今回選定されたクルミは、榆林市が近年大いに注力し推し進めている経済樹木です。クルミは耐寒性、耐旱魃性に優れた特長を有しており、土地が痩せて日当たりが強く、旱魃地である黄土高原においても谷間にしっかり根付いています。横山県（現在は榆林市横山区）には、元々一定量のクルミの分布がみられ、その生産量や品質とも優れたものがあることから、今般の植林による高い経済効果が期待されています。

平成30（2018）年植樹した9ヘクタールのクルミの経済林（商業林）は、植え付け後の活着率が95%、幹の伸びも30センチメートルと順調に成長しています。令和2（2020）年には最初の収穫期を迎え、令和10（2028）年以降には収穫の最盛期に入る予定です。

中国東陽山緑化事業は残り2年間となりました。これまでの6年間、25ヘクタールの地に、覚書を上回る10,933株（楠子松6,480株、クルミ4,455株）の苗木を植え付けることが出来ました。

また、6年間の累計投資額は42.7万元。内訳は苗木15.2万元、労務17.4万元、機械8万元、材料1.1万元、その他1万元となっています。

残り2年間は新たな植樹はせず、今まで植樹してきた林の補植やメンテナンス管理をしっかり行い、25ヘクタールの植林を完成させていく予定です。

日中が協力して造成した林が、長きにわたり安定した防風砂防効果と経済効果（利益）を実現できることを強く願っています

### 3. 次期植林事業地の検討

タンザニア・モデル造林事業終了後における支援の在り方について検討を開始しました。

平成30年11月26日の理事会、及び同理事会に引き続く理事会・評議員会合同会議において、今後の支援の在り方について意見交換が行われ、新たな支援先候補として、ベトナム・ダナン市での協力の可能性が言及されました。

平成31年3月に、ベトナム・ダナン市において大石理事長及び役員1名がベトナム社会科学院等と植林協力に関して協議し、引き続きハノイ市において大石理事長が農業地方開発省の局長、在ハノイの日本国際協力機構（JICA）と協議しました。平成31年3月28日付けで植林協力に向けた書簡を送付し、現在ベトナム側において検討が行われている状況です。

## II 地球環境の保全に関する調査研究及び活動並びにその推進のための助成事業（公益目的事業2）

### 1. 平成31年度「地球にやさしいカード」の助成団体

株式会社セディナの「地球にやさしいカード」による平成31年度助成団体について、平成30年8月1日から9月30日までの2か月間、ホームページ等で募集を行ったところ、16団体（新規3団体、継続13団体）から応募がありました。11月に開催した審議委員会において、新規3団体はいずれも委員の評価が低く助成対象としないことで一致するとともに、継続13団体はすべて継続することで一致しました。その後同月に開催された理事会で、審議委員会決定どおりに可決されました。

平成31年度の助成13団体は次のとおりです。

- 認定NPO法人FoE Japan
- NPO法人ストップ・フロン全国連絡会
- NPO法人熱帯森林保護団体
- NPO法人尾瀬自然保護ネットワーク
- NPO法人立山自然保護ネットワーク
- NPO法人夏花
- 認定NPO法人ヒマラヤ保全協会
- NPO法人サンクチュアリーエヌピーオー
- NPO法人桶ヶ谷沼を考える会
- 上総自然学校

- 認定NPO法人トラ・ゾウ保護基金
- 虹別コロカムイの会
- 真庭遺産研究会

(参考) 審査の方法については、提出された申請書類の不備等を先ず事務局において確認しました。各審議委員には4つの審査項目について1点から3点までの評価点（最高で合計12点）を記入してもらい、4人の審議委員の評価点を集計し、審議委員会全体として助成の適否を決めています。

審査集計表（全体）

No.	団体名	評価合計	助成の認定
1	F o E J a p a n	37	可
2	ストップ・フロン全国連絡会	35	可
3	熱帯森林保護団体	38	可
4	尾瀬自然保護ネットワーク	43	可
5	立山自然保護ネットワーク	39	可
6	夏花	35	可
7	ヒマラヤ保全協会	37	可
8	サンクチュアリエヌピーオー	43	可
9	桶ヶ谷沼を考える会	41	可
10	トラ・ゾウ保護基金	38	可
11	上総自然学校	38	可
12	虹別コロカムイの会	40	可
13	真庭遺産研究会	30	可
14	(新規) くまもと未来ネット	20	不可
15	(新規) NPOクワガタ探検隊	28	不可

16	(新規) 国際マングローブ生態系協会	27	不可
----	-----------------------	----	----

(注) 助成金については、申請費用のうち定められた対象経費に該当すると審議委員会で認められたもののみを対象としています。

## 2. 「地球にやさしいカード」団体への助成

株式会社セディナの「地球にやさしいカード」の寄付による平成30年度の助成総額は、13団体、1,264万2千円となりました。

各団体には、従来どおり総額の30%が各テーマに均等に配分され、残りの70%がテーマごとのカード利用実績に応じて配分されました。各団体の配分は次のとおりです。

団 体 名	助成金額
認定NPO法人FoE Japan	309万82百円
NPO法人ストップ・フロン全国連絡会	144万38百円
NPO法人熱帯森林保護団体	103万78百円
NPO法人尾瀬自然保護ネットワーク	80万64百円
NPO法人立山自然保護ネットワーク	66万68百円
NPO法人夏花	101万44百円
認定NPO法人ヒマラヤ保全協会	57万69百円
NPO法人サンクチュアリーエヌピーオー	78万53百円
NPO法人桶ヶ谷沼を考える会	54万50百円
上総自然学校	54万50百円
認定NPO法人トラ・ゾウ保護基金	112万38百円
虹別コロカムイの会	81万36百円
真庭遺産研究会	30万51百円

また、各助成団体の平成30年度の活動は、次のとおりです。

### (1) 地球温暖化を抑える事業（認定NPO法人 FoE Japan）

（テーマ：パリ協定後の地球温暖化対策・エネルギー政策転換に向けた提言・普及啓発活動）

途上国で起きている気候変動の影響について調査し、気候変動の緊急性を訴える活動や、足元からできる省エネ活動の調査・紹介を行いました。また、国際的な気候変動交渉をウォッチし、気候変動に関する最新の議論についてセミ

ナーの開催やパンフレットの作成を通じ、日本の市民社会にわかりやすく伝えるための情報発信、政策提言等を行いました。

(2) オゾン層を守る事業 (NPO法人 ストップ・フロン全国連絡会)

(テーマ：オゾン層保護のためのモントリオール議定書改正を踏まえた日本でのノンフロン化対応に向けた普及拡大事業)

近年、エアコンの冷媒に、オゾン層保護のためとしてR32というフロン系物質が使われています。しかしこれは大変危険な物質で新たな環境問題を引き起こしているため、ストップ・フロン全国連絡会では、フロンを使わない自然冷媒への転換を求めてきました。特に最もフロンの排出が大きいスーパーやコンビニの冷凍冷蔵ショーケースに使われているフロンの問題については、アニメーション動画を作成し、広く市民に伝えました。

(3) 熱帯林を守り育てる事業 (NPO法人 熱帯森林保護団体)

(テーマ：ブラジル・カポトジャリーナインディオ保護区におけるの消火・消防事業)

地球の酸素供給源であるアマゾンの熱帯林は、急速な開発（巨大ダム建設、牧場造成、大豆畑等）の影響で減少の一途を辿っています。異常気象も重なり、自然発火等で火災が発生し深刻な状況です。カポト・ジャリーナインディオ保護区では、これを回避する一環として3名のインディオリーダー、50名の若者による「インディオ消防団」を組織しています。当該団体はこの消防団を支援しており、消火道具、防護服等の物資供与等の支援を行っています。

(4) 尾瀬の自然を守る事業 (NPO法人 尾瀬自然保護ネットワーク)

(テーマ：自然環境教育事業、尾瀬の自然保護に関する調査研究事業、自然環境保護に関する普及啓発事業)

尾瀬国立公園において自然環境教育活動としてハイカーへの入山指導を延べ11週実施。尾瀬アカデミーを開講し5名のインタープリターを養成。調査活動として至仏山「携帯トイレ」アンケート調査や、外来移入植物調査等を行いました。また、8月11日「山の日」制定記念事業として“尾瀬自然ガイド”を実施しました。

(5) 立山連峰の自然を守る事業 (NPO法人 立山自然保護ネットワーク)

(テーマ：立山黒部アルペンルート沿線の外来性植物除去事業及び啓発活動)

立山地域の標高1,000m～2,450mの範囲で、オオバコやスズメノカタビラなどの低地性植物・セイヨウタンポポなどの外来性植物約7万本を除

去しました。長年の努力の結果、外来性植物の繁茂を概ねコントロールできている地点が少しずつ増えています。8月には地元の大学生27名とともに除去作業を行い、春・夏・冬には富山県内の山地や丘陵で自然観察会を開催し、啓発活動にも取り組みました。

(6) 白保のサンゴを守る事業 (NPO法人 夏花)

(テーマ：石垣島白保地区におけるサンゴ礁保全活動)

白保海域は世界的にも有名なアオサンゴ群集が広がっていますが、海水温の上昇や赤土の流入によって危機的な状況にあります。今年度は、地元の子どもたちを対象に、サンゴや赤土に関するレクチャー、白保海域でのシュノーケリング体験、赤土流出対策として畑の周囲に植物を植えるグリーンベルトの植栽体験など一連の学習を実施し、環境や保全に対する意識の向上を図りました。

(7) ヒマラヤの自然を守る事業 (認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会)

(テーマ：ネパールダウラギリ地方レスパル村 (他2村) 緑化再生プロジェクト)

ヒマラヤ山麓で伐採された跡地に山岳部住民と植林活動をしています。レスパル村、バランジャ村、ジーン村では学生から高齢者まで3世代の住民が合同で「みんなで作ろう！未来の緑の森づくりプロジェクト」を行い、3村で約40種、3万9,000本を植樹しました。特にレスパル村では、新設した苗畑で育苗に取り組みました。

(8) ウミガメを守る事業 (NPO法人 サンクチュアリエヌピーオー)

(テーマ：遠州灘海岸におけるアカウミガメと産卵地の環境保護と調査活動)

アカウミガメの保護調査活動は33年目を迎えました。アカウミガメの保護・繁殖調査や子ガメの観察会を通じて啓発し、年間50回のビーチクリーンアップを実施して海岸環境の向上に努めました。しかし、アカウミガメの産卵地である砂浜は、年々減少します。そこで、自然の力を利用した砂浜回復事業にも力を入れました。この活動が企業のCSRにも取り入れられ、土木作業の専門業者の力も得ることが出来ました。

(9) トンボの保護区を守る事業 (NPO法人 桶ヶ谷沼を考える会)

(テーマ：トンボの種の保全と自然環境を守る)

トンボの楽園「桶ヶ谷沼」には、絶滅危惧種ベッコウトンボをはじめ70種のトンボが確認されています。豊かな自然環境を守るため、生物生息調査、外来種駆除、水生植物増殖、林の植生管理、トンボの産卵誘致などに努めました。



(10) 上総自然学校

(テーマ：里山のトンボを元気に、数多くに)

里山の保全・育成・改良に取り組んでおり、平成30年度は、田んぼの体験イベントやトンボの観察会などの生態調査、トンボが繁殖するための池作りなど生き物を増やす為の開墾、植樹などを行いました。

生態調査は毎月実施するほか、センサーカメラで常時調査を行っています。夏には夜間調査も行い、千葉県生物多样性センターに報告しています。

(11) アフリカ象を守る事業(認定NPO法人 トラ・ゾウ保護基金)

(テーマ：アフリカゾウ密漁防止)

4月のアースデイ東京(代々木公園)、8月の世界ゾウの日(上野動物園)等にブースを出展し、年間2万頭以上の密猟というアフリカゾウの危機を伝え、象牙のハンコを買わないで、と訴えました。10月にはワシントン条約常設委員会(ソチ/ロシア)に参加し、9つのNGOを代表して、日本の象牙管理の問題点を指摘し国際社会と協調して国内象牙市場を閉鎖すべきと発言しました。

(12) 虹別コロカムイの会

(テーマ：シマフクロウ繁殖と河畔林造成)

北海道各地で生息しているシマフクロウは開発等により現在約165羽程度です。毎年5月に、シマフクロウの生息環境を復元するため100年計画の植樹「シマフクロウの森づくり百年事業殖樹祭」を開催したほか「摩周水環境フォーラム」の開催や、バイカモ保全活動等にも取り組みました。

(13) 真庭遺産研究会

(テーマ：守れ中国山地の生き物ホットスポット！特別天然記念物オオサンショウウオや希少トンボの棲む里山水辺の保全活動)

真庭市北部は、広大な面積で「オオサンショウウオ生息地」の指定を受けていますが、個体数の減少が進んでいます。平成30年7月の西日本豪雨によってオオサンショウウオが流失した田羽根川などの河川環境や生息状況、繁殖環境の変化の状況を把握するとともに、オオサンショウウオの繁殖移動に支障をきたしている堰堤や落差工などについて、遡上を容易にする対策を策定するなどの取組を行ってきました

### Ⅲ 地球環境の保全に関する普及啓発事業（公益目的事業3）

#### 1. 機関紙（緑の地球新聞）の発行

基金の情報を発信するために、会員を対象に年4回発行している「緑の地球新聞」を継続発行するとともに、その体裁の変更及び内容の充実に取り組みました。

緑の地球新聞第140号（2018年4月5日発行）

- タンザニア・モデル造林事業現地調査報告
- 地球にやさしいカード助成団体の30年度活動取組
- たくさんの使用済み切手などありがとうございました

緑の地球新聞第141号（2018年7月5日発行）

- タンザニア・モデル造林事業、大雨季植林実施中
- 2016（平成28）年度の温室効果ガス排出量（確報値）について
- 平成29年度環境問題研究・活動報告書を発行
- 虹別コロカムイの会の活動
- 役員の変更と大石理事長の再任
- 地球にやさしいカード/総額673万600円を12テーマ12団体に助成
- チャリティコンサートでの募金活動
- たくさんの使用済み切手などありがとうございました

緑の地球新聞第142号（2018年10月5日発行）

- 順調に進展する中国東陽山緑化事業
- 環境危機時計14分進み、9時47分に 調査開始以来最悪の数値に
- 真庭遺産研究会の活動
- （お知らせ）第12回研究・活動報告会の開催
- たくさんの使用済み切手などありがとうございました

緑の地球新聞第143号（2019年1月5日発行）

- タンザニア・モデル造林事業 大石理事長が現地訪問、  
26年間の協力式典開催
- 新年のご挨拶 理事長大石正光
- 平成30年度「地球にやさしいカード」助成金贈呈式／第12回研究・活動  
報告会を開催
- 平成31年度「地球にやさしいカード」の助成13団体決まる
- たくさんの使用済み切手などありがとうございました

## 2. 環境諸問題研究・活動報告書の作成・頒布

当基金の目的である「わが国を含め地球上の緑及び緑に依存して生息する野生生物の適正な保護」等に沿って1年間の研究・活動実績を取りまとめた「平成29年度環境諸問題研究・活動報告書」を平成30年6月に作成しました。

写真をカラー印刷にして現地の雰囲気などを少しでも感じていただけるよう工夫するとともに、会員をはじめ各国立大学図書館など多くの皆様に活動状況を知っていただくため、無料配布部数を大幅に増やしました。

### 平成29年度（2017年度）環境諸問題研究・活動報告書の内容

- |                                       |                             |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| ○タンザニアモデル造林事業・モデル造林として新たな体制へ          | (公財) 緑の地球防衛基金               |
| ○順調に進展する日中緑化協力事業                      | (公財) 緑の地球防衛基金               |
| ○パリ協定後の地球温暖化対策・エネルギー政策転換に向けた提言・普及啓発活動 | 認定NPO 法人<br>F o E J a p a n |
| ○モントリオール議定書30周年を振り返り、現在のフロン問題を訴える     | NPO 法人<br>ストップ・フロン全国連絡会     |
| ○アマゾン、カポト・ジャリーナインディオ保護区における消火事業       | NPO 法人熱帯森林保護団体              |
| ○フィリピンボカナ村での植林活動                      | NPO 法人イカオ・アコ                |
| ○東八幡平大松倉火山における地熱発電計画と自然保護             | 八幡平の葛根田ブナ原生林を守る会            |
| ○地球温暖化調査：「ツバメオモト定点観察」報告               | NPO 法人<br>尾瀬自然保護ネットワーク      |
| ○立山の自然を守るため富山県知事に意見書を提出               | NPO 法人<br>立山自然保護ネットワーク      |
| ○白保のサンゴを守る                            | NPO 法人夏花                    |
| ○ヒマラヤ山岳民族の森林資源活用と森林保全活動の推進            | 認定NPO 法人<br>ヒマラヤ保全協会        |

○ウミガメの保護と海岸環境を守るために	NPO 法人 サンクチュアリエヌピーオー
○トンボの種の保全と自然環境を守る	NPO 法人 桶ヶ谷沼を考える会
○ゾウを守るための活動報告2017	認定NPO 法人 トラ・ゾウ保護基金

### 3. 情報公開

当基金の中国・タンザニアでの植林活動等の状況、運営内容及び財務資料等をインターネットで積極的に公開し、公正で開かれた活動を推進することにより、会員、寄付者をはじめ、国民の植林への啓発に努めました。今年度は、ホームページの月次更新を継続するとともに、情報公開の充実にも努めました。

### 4. イベントへの参加ーゴスペル東京チャリティーコンサートでの募金活動

ゴスペル東京の第19回チャリティーコンサートが平成30年6月16日（土）に東京・中野区の「なかのZERO ホール」で開催されました。当基金は他の6団体とともに招かれ、募金活動に参加しました。

## 〈管理部門〉

### 1. 会員

平成30年度は、入会1件（個人1件）に対して退会は7件（法人1件、個人6件）で差し引き6件減少し、同年度末136件（前年度末142件）となりました。その内訳は、個人会員122件、法人会員14件であり、会員減少に歯止めがかかっていない状況です。

### 2. 寄付

平成30年度の寄付は法人・団体815万8千円（前年度722万1千円）、個人61万9千円（前年度89万8千円）の総計877万7千円（前年度811万9千円）でした。

そのうち、使用済み切手、書き損じハガキ、未使用切手などの物品寄付は145万8千円（前年度137万7千円）となりました。なお、50万円以上を寄付した法人・団体は、株式会社セディナ、株式会社ECC、ラサ商事株式会社、福助工業株式会社（ロゴマーク使用料）となっています。

### 3. 理事会の概要

平成30年 6月 4日

- 決議 1 平成29年度事業報告書案及び同決算書案に関する件
- 2 理事の推薦に関する件
- 報告 1 理事長及び業務執行理事の報告について

平成30年 6月26日

- 決議 1 仮議長選任に関する件
- 2 理事長選定に関する件
- 3 業務執行理事（副理事長）選定に関する件
- 4 常勤理事に関する件

平成30年11月26日

- 決議 1 平成31年度地球にやさしいカード助成対象団体選定に関する件
- その他1 次回理事会の日程について
- 2 タンザニア支援終了後における今後の支援の在り方について

平成31年 3月 4日

- 決議 1 常勤役員の平成31年度報酬額等（案）に関する件

- 2 平成31年度事業計画書（案）及び同収支予算書（案）に関する件
- 報告 1 理事長及び業務執行理事の報告について

#### 4. 評議員会の概要

平成30年 6月26日

- 決議 1 議長選任の件
- 2 議事録署名人の選任の件
- 3 平成29年度事業報告書案及び同決算書案に関する件
- 4 理事の選任に関する件

平成31年 3月25日

- 決議 1 議長選任の件
- 2 議事録署名人選任の件
- 2 常勤役員の平成31年度報酬額等（案）に関する件
- 3 平成31年度事業計画書（案）及び同収支予算書（案）に関する件
- その他 1 藤沢事務職員の退職について
- 2 ベトナム・ダナン市での植林に関する現地調査について

#### 5. 理事会・評議員会合同会議の概要

平成30年11月26日

- 決議 1 評議員会議長選任の件
- 2 タンザニア派遣報告に関する件
- 3 基本財産の入れ替えに関する件
- 4 今後の支援の在り方に関する件

#### 6. 審議委員会の概要

平成30年11月13日

- 1 議長選任に関する件
- 2 平成31年度助成対象団体の選定に関する件

#### 7. 常勤役員の平成30報酬額等

大石正光理事長の報酬額については、月額35万円年額420万円、賞与額70万円（年2回7月期、12月期に支給）、の合計490万円の支給としました。

## 8. 理事長及び業務執行理事の報告

理事長及び業務執行理事の報告が、平成30年6月4日及び平成31年3月4日の理事会で行われました。

## 9. 職員の状況

平成31年3月末に藤沢事務局員が退職し、3月末現在、事務局長1人、常勤パート職員1人の職員2人とアルバイト1人となっています。

(翌4月1日からは事務局長1人、事務局員1人の職員2人とアルバイト1人)

## 10. 職員の給与

3月末現在、平成29年度と同じく、事務局長25万円となっています。

## ＜1年間の出来事＞

- 平成30年 4月 5日 機関紙「緑の地球新聞」第140号発行
- 平成30年 5月 中旬 「地球にやさしいカード」による平成29年度下半期の助成
- 平成30年 6月 1日 平成29年度環境諸問題研究・活動報告書発行
- 平成30年 6月 4日 理事会を開催し、平成29年度事業報告書案及び同決算書案を全会一致で可決
- 平成30年 6月16日 ゴスペル東京第19回チャリティーコンサートで募金活動
- 平成30年 6月26日 評議員会を開催し、平成29年度事業報告書案及び同決算書案を全会一致で承認
- 平成30年 7月 1日 「地球にやさしいカード」による平成31年度助成受給団体の募集（受付期間8月1日から9月30日まで）
- 平成30年 7月 5日 機関紙「緑の地球新聞」第141号発行
- 平成30年 9月14日 タンザニア・モデル造林事業調査に職員を派遣（10月13日まで）
- 平成30年 9月30日 タンザニア・モデル造林事業の協力式典及び現地視察のため、大石理事長を現地に派遣（10月5日まで）



- 平成30年10月 5日 機関紙「緑の地球新聞」第142号発行
- 平成30年11月 初旬 「地球にやさしいカード」による平成30年度上半期の助成
- 平成30年11月13日 「地球にやさしいカード」による平成31年度助成団体選定のための審議委員会を開催
- 平成30年11月26日 理事会を開催し、「地球にやさしいカード」による平成31年度助成団体を全会一致で可決
- 平成30年11月26日 理事会に引き続き、理事会・評議員会合同会議を開催し、タンザニア派遣報告、今後の支援の在り方等について協議
- 平成31年 1月 5日 機関紙「緑の地球新聞」第143号発行
- 平成31年 3月 4日 理事会を開催し、平成31年度事業計画書案及び同収支予算書案を全会一致で可決
- 平成31年 3月 9日 次期植林計画検討のため、ベトナム・ダナン市へ大石理事長を派遣（現地で柳評議員と合流しベトナム側と折衝）
- 平成31年 3月25日 評議員会を開催し、平成31年度事業計画書案及び同収支予算書案を全会一致で承認

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成31年6月

公益財団法人緑の地球防衛基金